

 **センコーグループホールディングス株式会社**

2019年（平成31年）3月期

第2四半期決算説明資料

第1部

2019年3月期 第2四半期

(2018年4月～9月)

決算の概要について

1. 2019年3月期 第2四半期 業績の概要

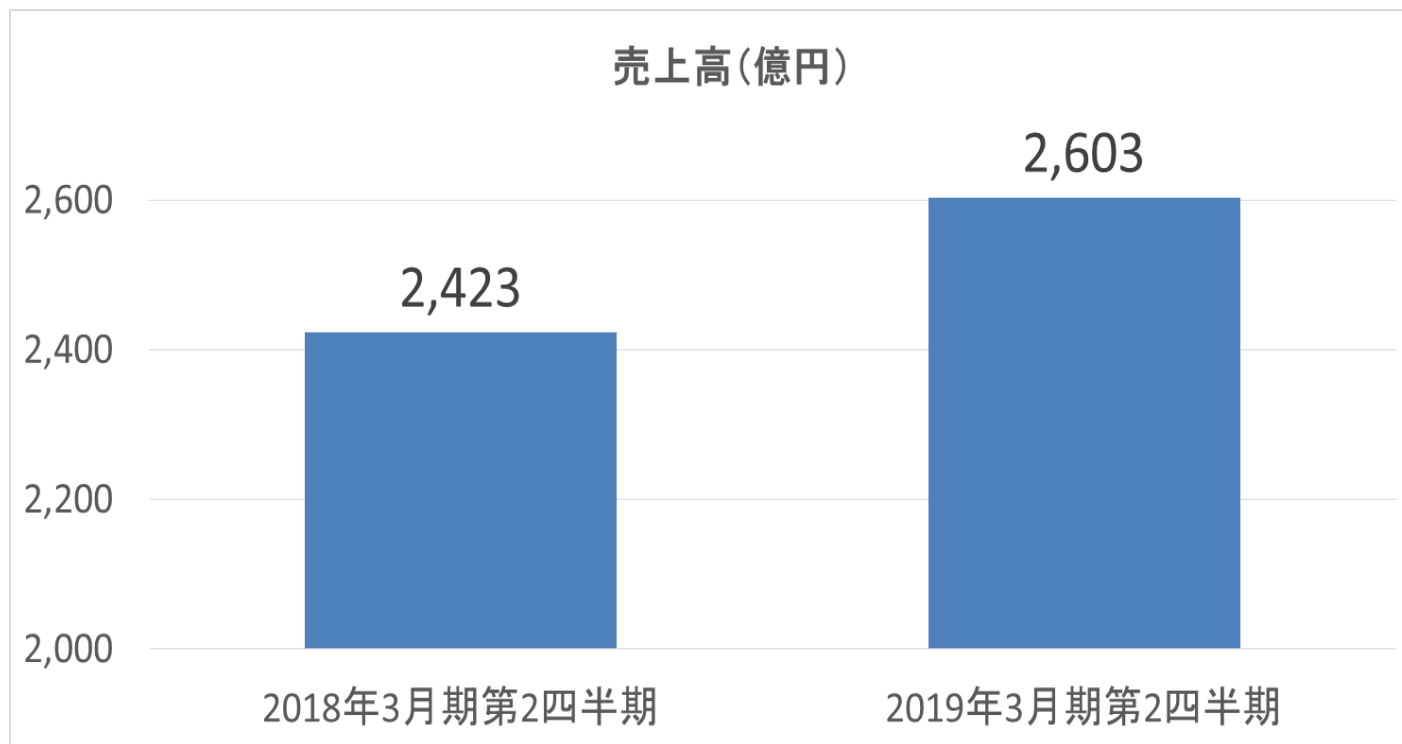


(百万円, %)

	2018年3月期 第2四半期		2019年3月期 第2四半期		前年同期比	
	(前期)	利益率	(当期)	利益率	増減額	増減率
売上高	242,300	—	260,339	—	18,039	7.4
営業利益	7,991	3.3	9,108	3.5	1,117	14.0
経常利益	8,025	3.3	9,368	3.6	1,343	16.7
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	4,351	1.8	5,616	2.2	1,265	29.1

前年同期比

180億円増収 7.4%増



◆自然災害影響などがあったが、拡販や料金改定、M&A(安全輸送、オクムラ)期間差、新規連結効果(※ライフサポート3社)で180億円の増収。

※ライフサポート3社(けいはんなヘルパーステーション、ブルーアースジャパン、ビーナス)

3. 2019年3月期 第2四半期 分野別売上高の概要

(億円 , %)

	2018年3月期 第2四半期 (前期)	2019年3月期 第2四半期 (当期)	前年同期比		増減内訳	
			増減額	増減率	M&A 影響	新規+ 既存ほか
流通ロジスティクス	934	1,035	101	10.8	33	68
住宅物流	297	297	0	0.0		0
ケミカル物流	330	357	26	7.9	0	26
その他物流	143	152	9	6.4		9
物流事業	1,704	1,840	136	8.0	33	103
商事・貿易事業	686	704	18	2.7	8	10
その他事業	33	59	26	78.3		26
合計	2,423	2,603	180	7.4	65	115

※上記に含む国際関係売上

国際関係売上	125	141	17	13.3
売上高構成比 (%)	5.1	5.4		

※非連結法人も含む国際関係売上

国際関係売上	144	178	34	23.5
--------	-----	-----	----	------

<流通ロジスティクス>

- ◆食品やアパレル、ディスカウントストア、ホームセンターなどの物量増やM&A期間差などで増収。

<住宅物流>

- ◆拡販に努めたが、既存物量の減少などで前年と同額にとどまる。

<ケミカル物流>

- ◆化学品や樹脂、原料などの物量増で増収。

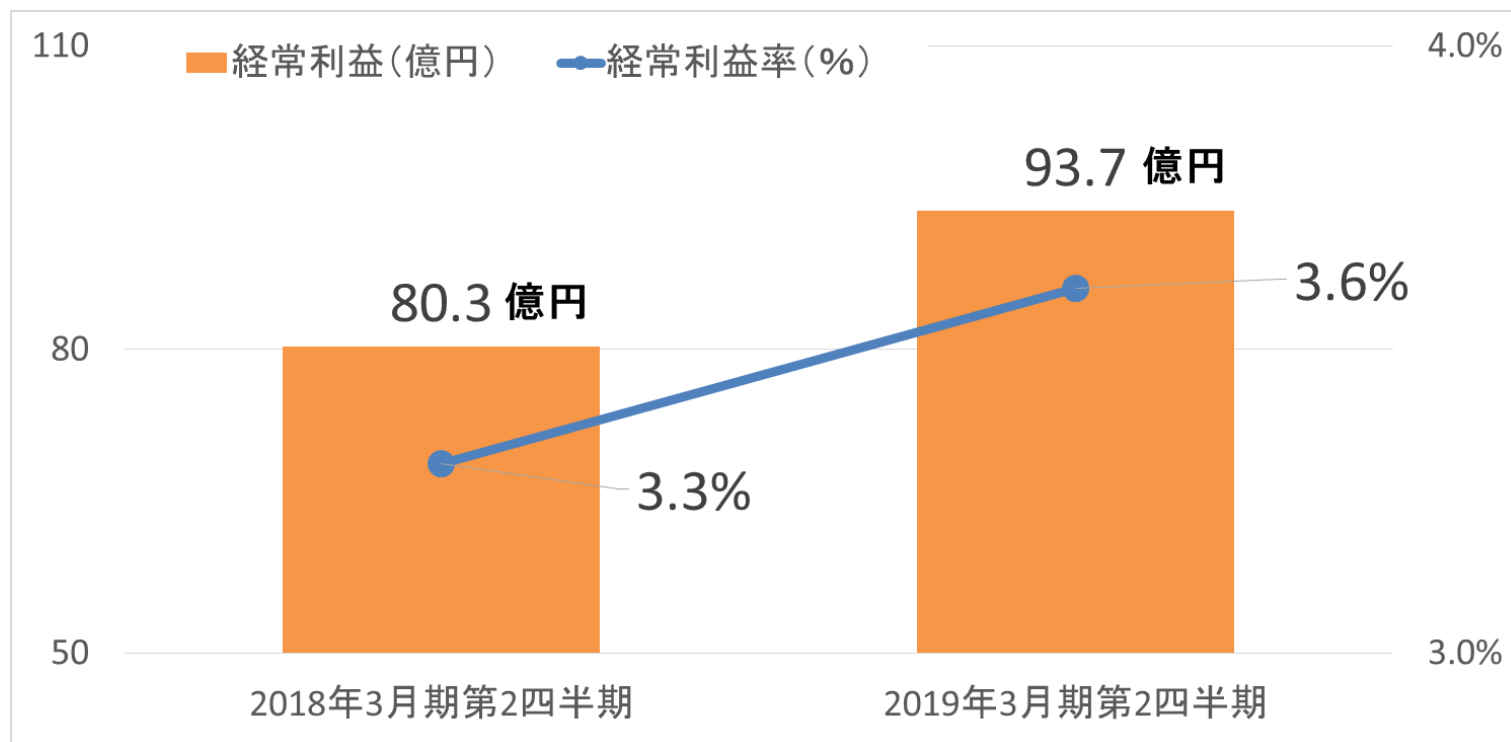
<商事・貿易事業>

- ◆新規拡販や「オクムラ」の期間差などで増収。

<その他事業>

- ◆ライフサポート事業会社を連結子会社化した影響などで増収。

前年同期比 経常利益 13.4億円増益 16.7%増



- ◆自然災害影響や外注費(備車費、作業費)、燃料価格のコストアップなどがあったが、拡販、料金改定、M&A(安全輸送とオクムラ)期間差、新規連結(ライフサポート3社)の増収効果、退職給付債務の数理処理額の減少などで、13.4億円の増益。

5. 2019年3月期 第2四半期 セグメント別業績の概要

(百万円, %)

売上高	2018年3月期 第2四半期 (前期)	2019年3月期 第2四半期 (当期)	前年同期比	
			増減額	増減率
物流事業	170,424	184,044	13,620	8.0
商事・貿易事業	68,584	70,427	1,843	2.7
その他事業	3,291	5,868	2,577	78.3
連結財務諸表計上額	242,300	260,339	18,039	7.4

(百万円, %)

営業利益	2018年3月期 第2四半期		2019年3月期 第2四半期		前年同期比	
	(前期)	利益率	(当期)	利益率	増減額	増減率
物流事業	6,227	3.7	7,403	4.0	1,176	18.9
商事・貿易事業	1,422	2.1	1,136	1.6	△ 286	△ 20.0
その他事業	515	15.7	775	13.2	260	50.5
調整額	△ 173	-	△ 206	-	△ 33	-
連結財務諸表計上額	7,991	3.3	9,108	3.5	1,117	14.0

- (物流事業) 売上高は、M&A期間差影響や、食品、アパレル、小売・量販関係の拡販などで増収。
営業利益は、自然災害や外注費のコストアップ影響などがあったが、売上拡大やM&Aなどの効果で増益。
- (商事・貿易事業) 売上高は、新規拡販や「オクムラ」の期間差などで増収。
営業利益は、物流費や、仕入れコストの増加などで減益。
- (その他事業) 売上高は、ライフサポート事業会社を新規連結したことなどで増収。
営業利益は、新規連結効果などで増益。

6. 2019年3月期 第2四半期 業績の概要【対計画】

SENKO

(百万円, %)

	2019年3月期 第2四半期 計画 (5月公表)		2019年3月期 第2四半期 実績		計画比	
		利益率		利益率	増減額	増減率
売上高	260,000	—	260,339	—	339	0.1
営業利益	9,000	3.5	9,108	3.5	108	1.2
経常利益	9,000	3.5	9,368	3.6	368	4.1
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	5,400	2.1	5,616	2.2	216	4.0

◆売上高は、物流事業と商事・貿易事業ともに減収だったが、その他事業の増収効果もあり、3億円の増収。

◆利益は、燃料単価アップや自然災害の影響があったが、既存物量や料金改定が計画を上回ったこともあり、増益。

7. 2019年3月期 第2四半期 貸借対照表

(億円)

資産の部		
科目	増減	摘要
流動資産合計		
1,197.7	56.3	
現金及び預金	17.5	
受取手形及び営業未収入金	7.0	
有価証券	20.3	
たな卸資産	5.5	
その他	5.9	
固定資産合計		
2,229.1	31.4	
有形固定資産※		※主な設備投資
建物及び構築物	97.0	●大阪南港センター
土地	△ 3.9	●福岡センター
その他	△ 70.2	●東富士PDセンター
無形固定資産	2.9	
投資その他の資産		
投資有価証券	△ 7.3	
差入保証金	7.7	
その他	5.3	
繰延資産合計		
0.5	△ 0.1	
資産合計		
3,427.3	87.6	

負債・純資産の部		
科目	増減	摘要
流動負債合計		
1,103.6	43.1	
支払手形及び営業未払金	△ 16.4	
短期借入金	75.3	
未払法人税等	△ 10.7	
賞与引当金	7.1	
その他	△ 12.2	
固定負債合計		
1,081.0	△ 17.7	
長期借入金	△ 20.8	
その他	3.1	
負債合計	2,184.6	25.4
純資産合計	1,242.7	62.1
資本金	265.3	
資本剰余金	300.1	2.8
利益剰余金	586.4	36.7
自己株式	△ 7.0	△ 1.1
非支配株主持分他	97.9	23.7
負債及び純資産合計		
3,427.3	87.6	

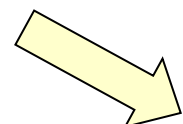
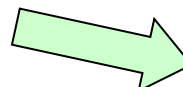
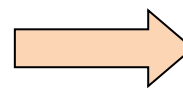
※自己資本比率
(前期末) 33.7%
(当期末) 34.1%

※リートへの資産売却による有形固定資産減少額△79億円

有利子負債			※有利子負債比率
1,252.7	54.3		(前期末) 35.9%
			(当期末) 36.5%

(億円)

	2018年3月期 第2四半期 (前期)	2019年3月期 第2四半期 (当期)
営業活動による キャッシュ・フロー	107.3	93.4
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 107.3	△ 131.3
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 9.2	24.9
現金及び現金同等物 の四半期末残高	253.1	235.0



当期の主な内容

税金等調整前四半期純利益	91.7
減価償却費	70.0
売上債権の増加	△ 9.9
仕入債務の減少	△ 15.3
法人税等の支払額	△ 46.3
等	

有形固定資産の取得	△ 162.9
有形固定資産の売却	92.4
関係会社株式の取得	△ 11.5
定期預金の預入	△ 30.4
有価証券の取得	△ 20.8
等	

借入金の増加	42.7
リース債務の返済	△ 19.8
非支配株主からの払込収入	23.1
配当金の支払	△ 17.0
等	

9. 2019年3月期 上期に稼働した主な物流センター

	名称	所在地	稼働年月	延床面積	事業会社
国内	1 大阪支店南港センター（冷凍・冷蔵）	大阪市	2018年 4月	20,400 m ² (6,200 坪)	(株)ランテック
	2 東富士PDセンター	静岡県 富士市	2018年 4月	16,400 m ² (5,000 坪)	センコー(株)
	3 福岡支店センター増床（冷凍・冷蔵）	福岡県 久山町	2018年 4月	12,000 m ² (3,600 坪)	(株)ランテック
	4 流山ロジスティクスセンター ※	千葉県 流山市	2018年 5月	30,600 m ² (9,200 坪)	センコー(株)
	5 古河PDセンター ※	茨城県 古河市	2018年 8月	31,300 m ² (9,500 坪)	センコー(株)
	6 加須PDセンター（2期計画） ：3温度帯（常温・冷凍・冷蔵）	埼玉県 加須市	2018年 8月	51,500 m ² (15,600 坪)	センコー(株)、(株)ランテック
国内計				162,200 m ² (49,100 坪)	
海外	7 青浦物流センター ※	中国 上海市	2018年 5月	18,900 m ² (5,700 坪)	上海扇拡国際 貨運有限公司
合計				181,100 m ² (54,800 坪)	

※賃借物件

第2部

2019年3月期

通期見通しについて

1. 2019年3月期 業績の見通し

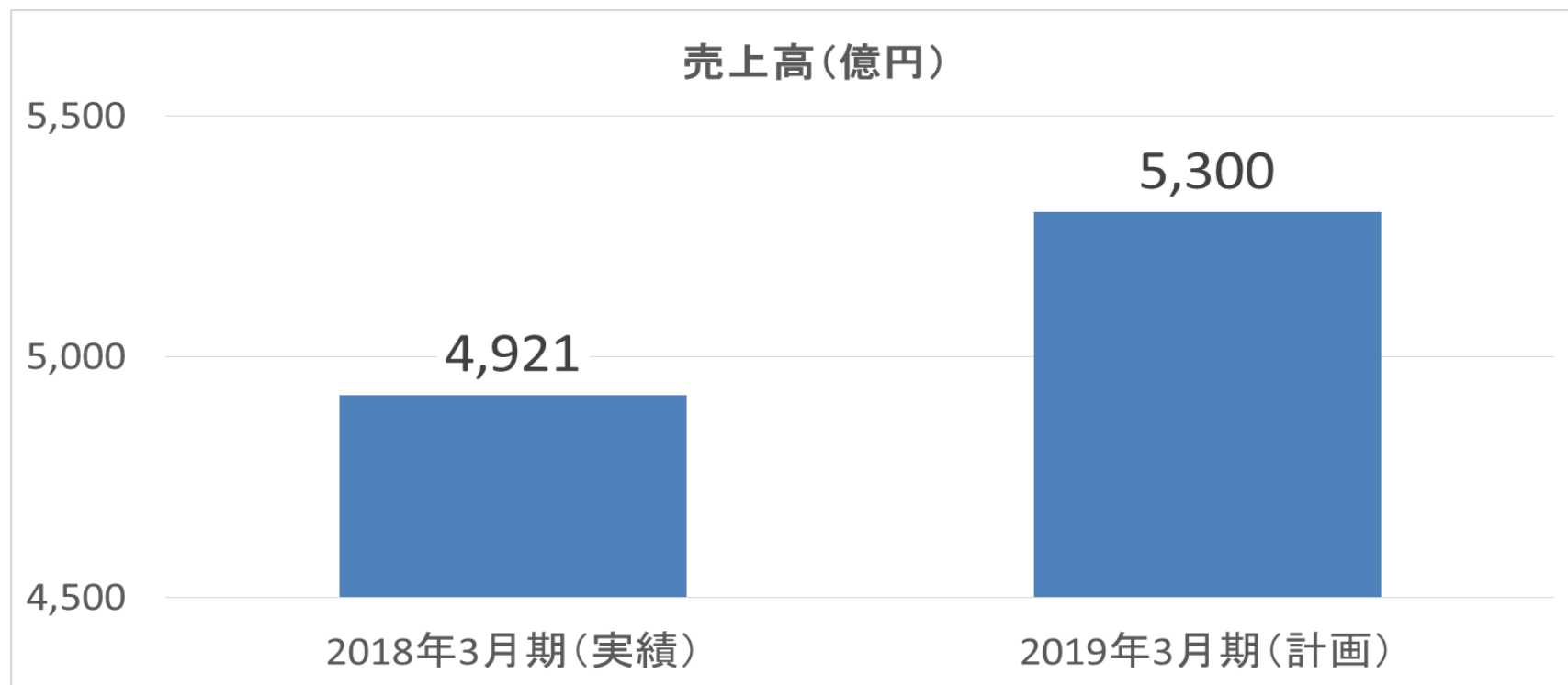


(百万円, %)

	2018年3月期		2019年3月期		前年同期比	
	実績	利益率	計画	利益率	増減額	増減率
売上高	492,127	—	530,000	—	37,873	7.7
営業利益	17,087	3.5	19,300	3.6	2,213	12.9
経常利益	17,316	3.5	19,300	3.6	1,984	11.5
親会社株主に 帰属する 当期純利益	9,503	1.9	11,500	2.2	1,997	21.0

前年同期比

379億円増収 7.7%増



- ◆ 拡販や料金改定、M&A期間差や新規連結効果(ライフサポート事業会社および新たに下期から連結子会社となる「M-SENKO ロジスティクス社」)などで379億円の増収を計画。

3. 2019年3月期 分野別売上高の見通し

SENKO

(億円, %)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 計画	前年同期比		増減内訳	
			増減額	増減率	M&A 影響	新規+ 既存ほか
流通ロジスティクス	1,905	2,093	188	9.8	36	152
住宅物流	600	600	0	0.2		0
ケミカル物流	678	738	60	8.9	0	60
その他物流	295	303	8	2.6		8
物流事業	3,478	3,734	256	7.4	36	220
商事・貿易事業	1,393	1,449	56	4.0	8	48
その他事業	51	117	67	131.3		67
合計	4,921	5,300	379	7.7	94	285

※上記に含む国際関係売上

国際関係売上	253	291	37	14.6
売上高構成比 (%)	5.2	5.5		

※非連結法人も含む国際関係売上

国際関係売上	303	371	67	22.2
--------	-----	-----	----	------

<流通ロジスティクス>

◆売上拡大やM&Aなどの効果で増収を計画。

<住宅物流>

◆前年と同額を計画。

<ケミカル物流>

◆売上拡大や料金改定で増収。

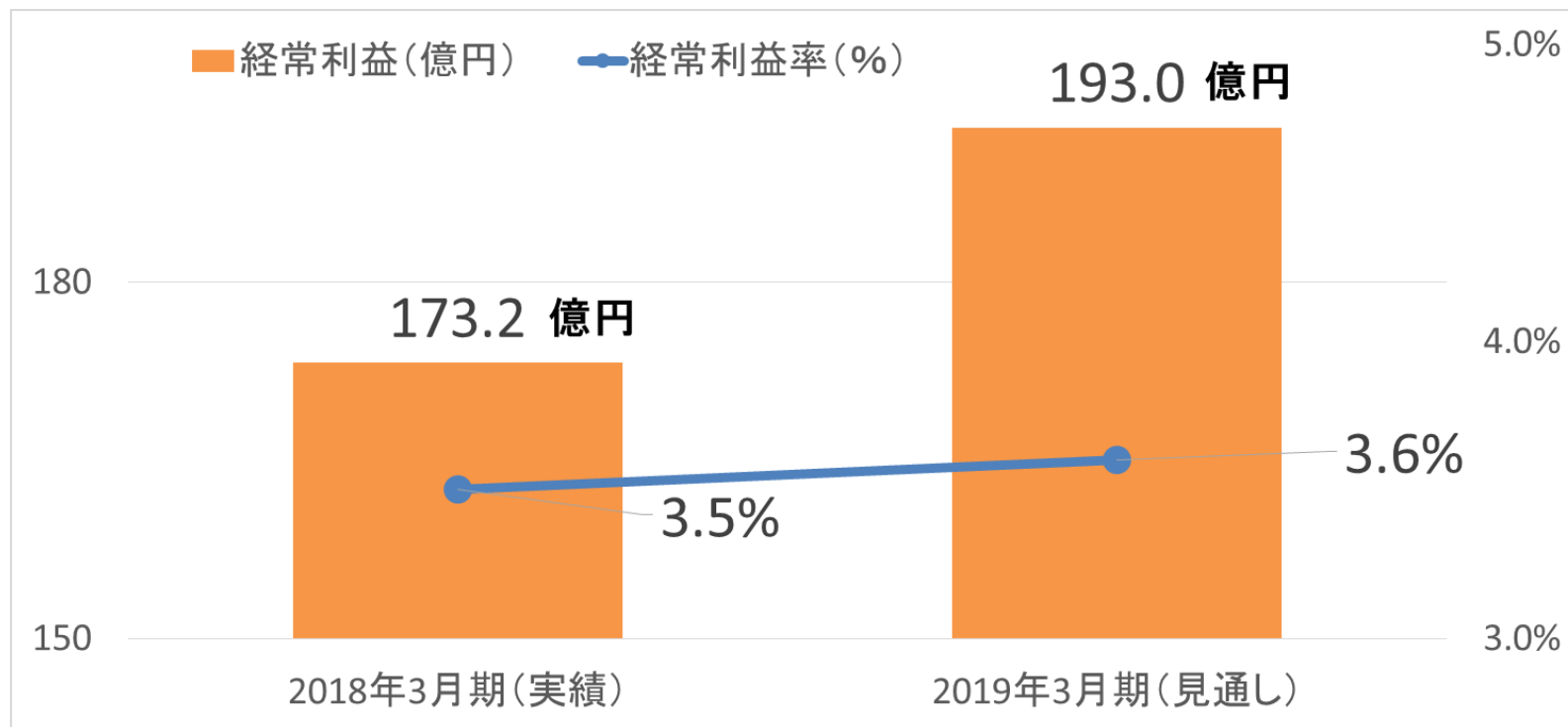
<商事・貿易事業>

◆新規拡販や「オクムラ」の期間差などで増収。

<その他事業>

◆ライフサポート事業会社の新規連結効果などで増収。

前年同期比 経常利益 19.8億円増益 11.5%増



◆自然災害の影響や外注費(備車費、作業費)、燃料価格のコストアップなどがあるが、拡販、料金改定、M&A期間差、新規連結効果、退職給付債務の数理処理額の減少などで、19.8億円の増益を計画。

5. 2019年3月期 セグメント別業績の見通し

(百万円, %)

売上高	2018年3月期 実績	2019年3月期 計画	前年同期比	
			増減額	増減率
物 流 事 業	347,752	373,400	25,648	7.4
商 事・貿 易 事 業	139,317	144,900	5,583	4.0
そ の 他 事 業	5,058	11,700	6,642	131.3
合 計	492,127	530,000	37,873	7.7

(百万円, %)

営業利益	2018年3月期		2019年3月期		前年同期比	
	実績	利益率	計画	利益率	増減額	増減率
物 流 事 業	13,709	3.9	15,550	4.2	1,841	13.4
商 事・貿 易 事 業	2,855	2.0	2,560	1.8	△ 295	△ 10.3
そ の 他 事 業	896	17.7	1,560	13.3	664	74.1
調整額	△ 373	-	△ 370	-	-	-
連結財務諸表計上額	17,087	3.5	19,300	3.6	2,213	13.0

(物流事業)

コスト改善や生産性向上などで、さらなる収益力アップを計画。

(商事・貿易事業)

上期は利益率を落としたが、下期は仕入原価の低減、物流コスト改善に取り組み収益力の回復を計画。

(その他事業)

売上高、営業利益ともにライフサポート事業の新規連結化などで、増収増益を計画。

7. 2019年3月期 下期に稼働予定の主な物流センター

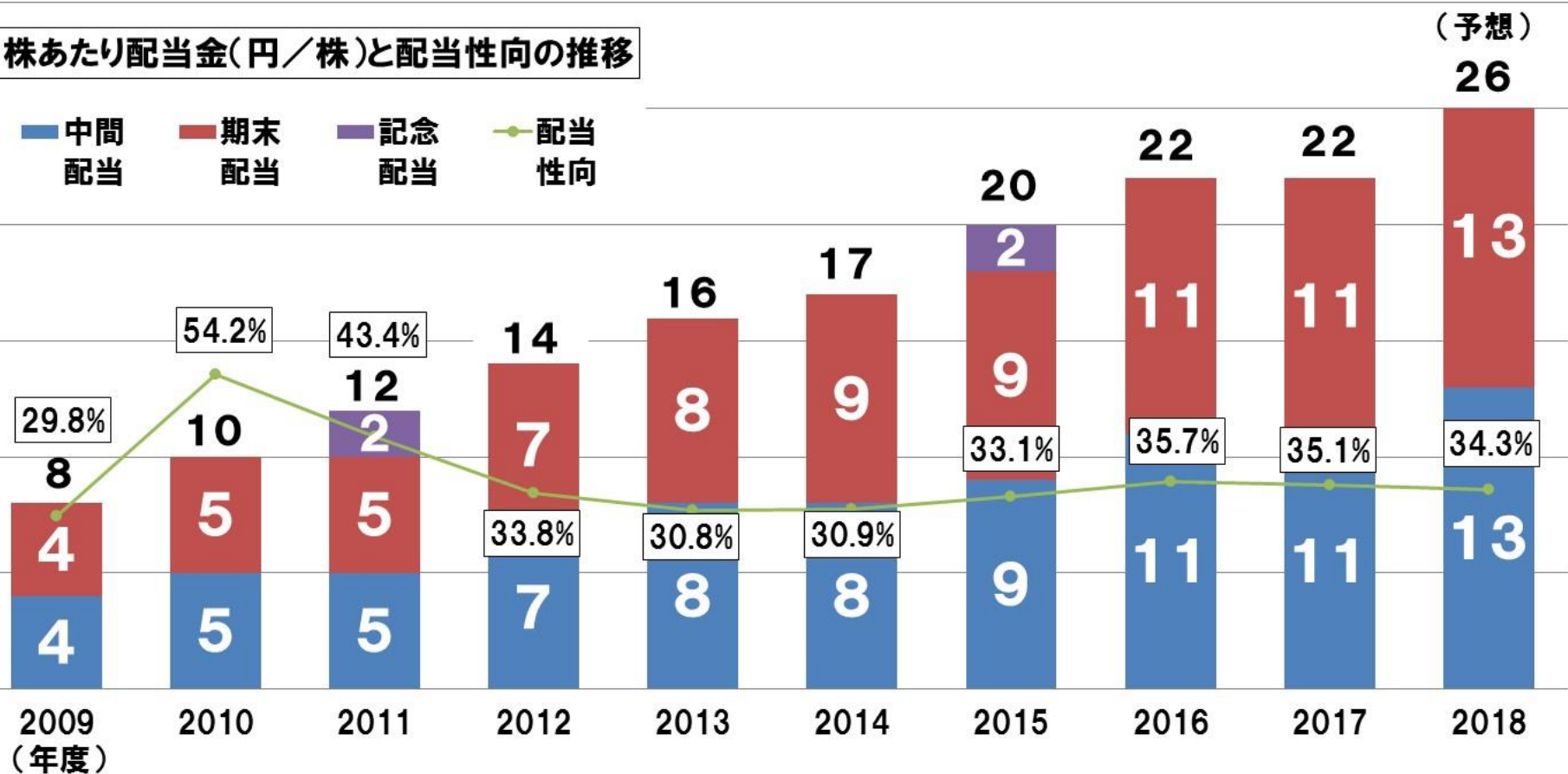
	名称	所在地	稼働年月	延床面積	事業会社
国内	1 湖東倉庫	滋賀県 東近江市	2018年 11月	3,500 m ² (1,080 坪)	センコー(株)
	2 京浜支店 かわさきFAZセンター ※ (冷凍・冷蔵)	川崎市	2018年 12月	17,500 m ² (5,300 坪)	(株)ランテック
	国内計			21,000 m ² (6,380 坪)	
海外	3 北京物流センター (冷凍・冷蔵) ※	中国 北京市	2018年 11月	9,400 m ² (2,800 坪)	中外運扇拡国際冷鏈 物流(上海)有限公司
	4 スカイリフト新倉庫 ※	シンガポール ジャランブロー	2018年 12月	7,100 m ² (2,200 坪)	Skylift Districenter Pte. Ltd.
海外計			16,500 m ² (5,000 坪)		
合計			37,500 m ² (11,380 坪)		

※賃借物件

8. 配当金について

1株あたり配当金(円/株)と配当性向の推移

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 記念配当 ● 配当性向

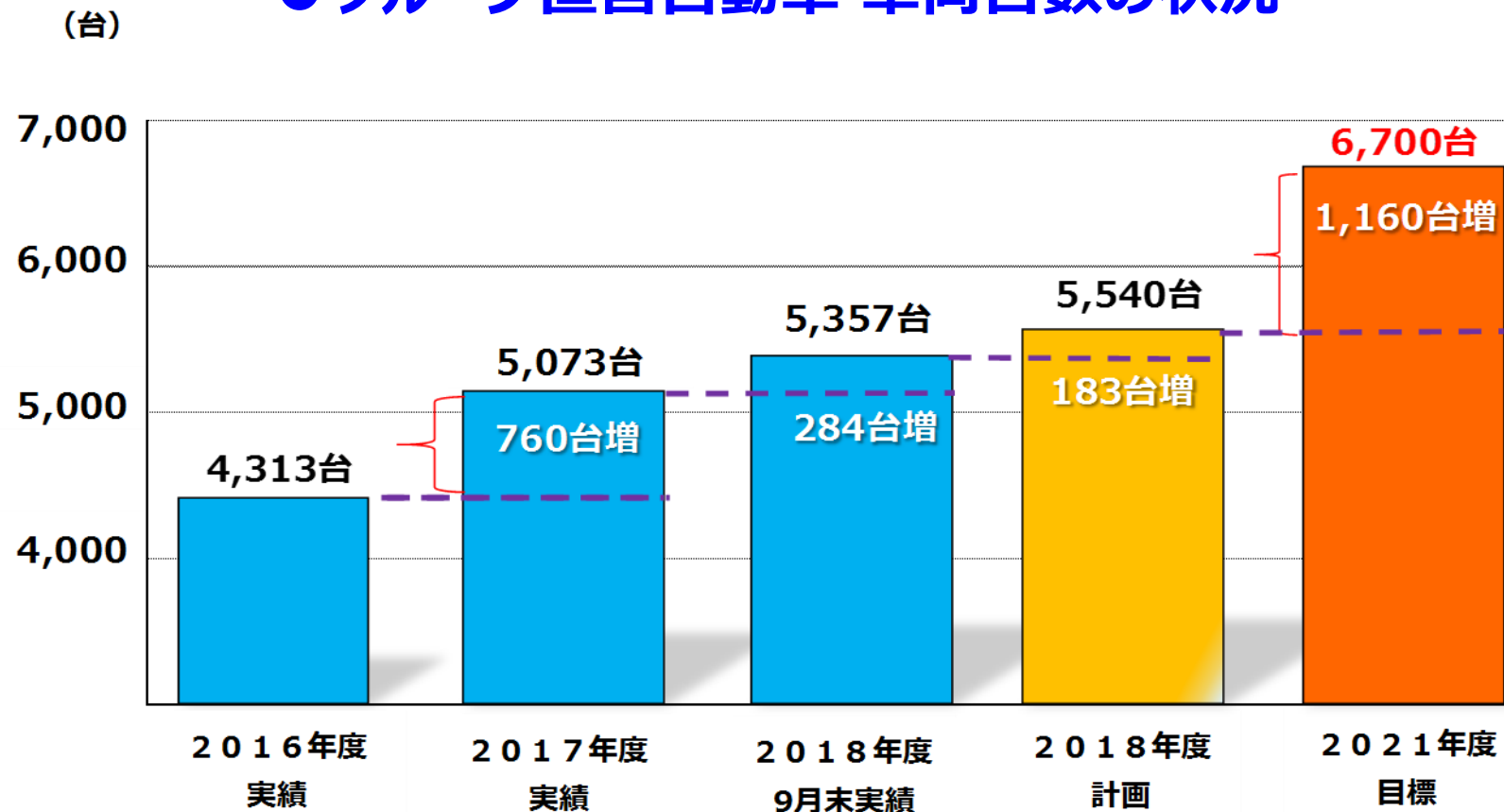


第3部

最近の事業活動について

グループ直営自動車 車両台数 6,700台体制に向けて

●グループ直営自動車 車両台数の状況

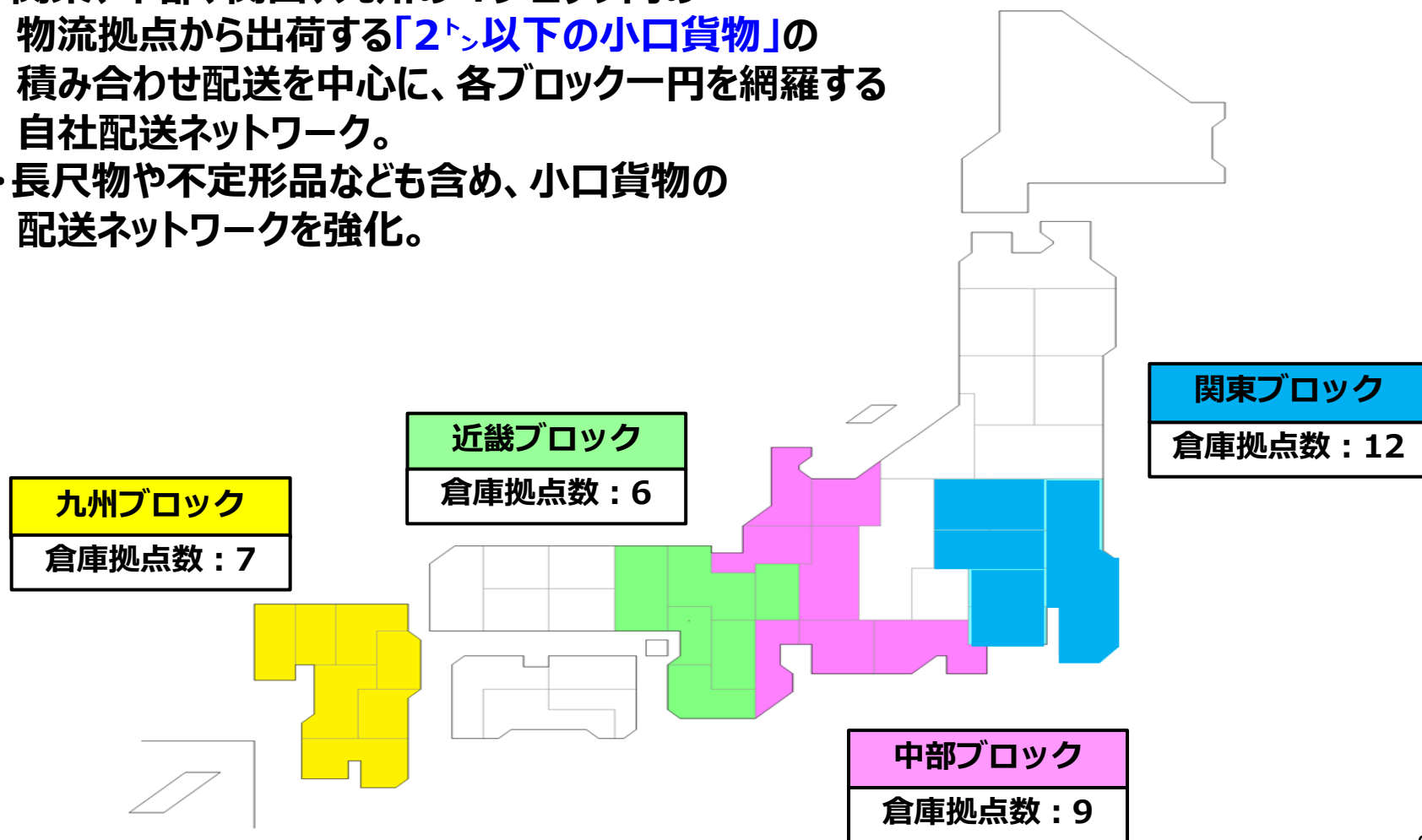


◆当社グループは、車両体制の直営化を進めており、2021年度の6,700台体制を目標としている。
今年度の上期は284台の増車で、来年3月末には5,540台体制を計画。

域内配送ネットワーク

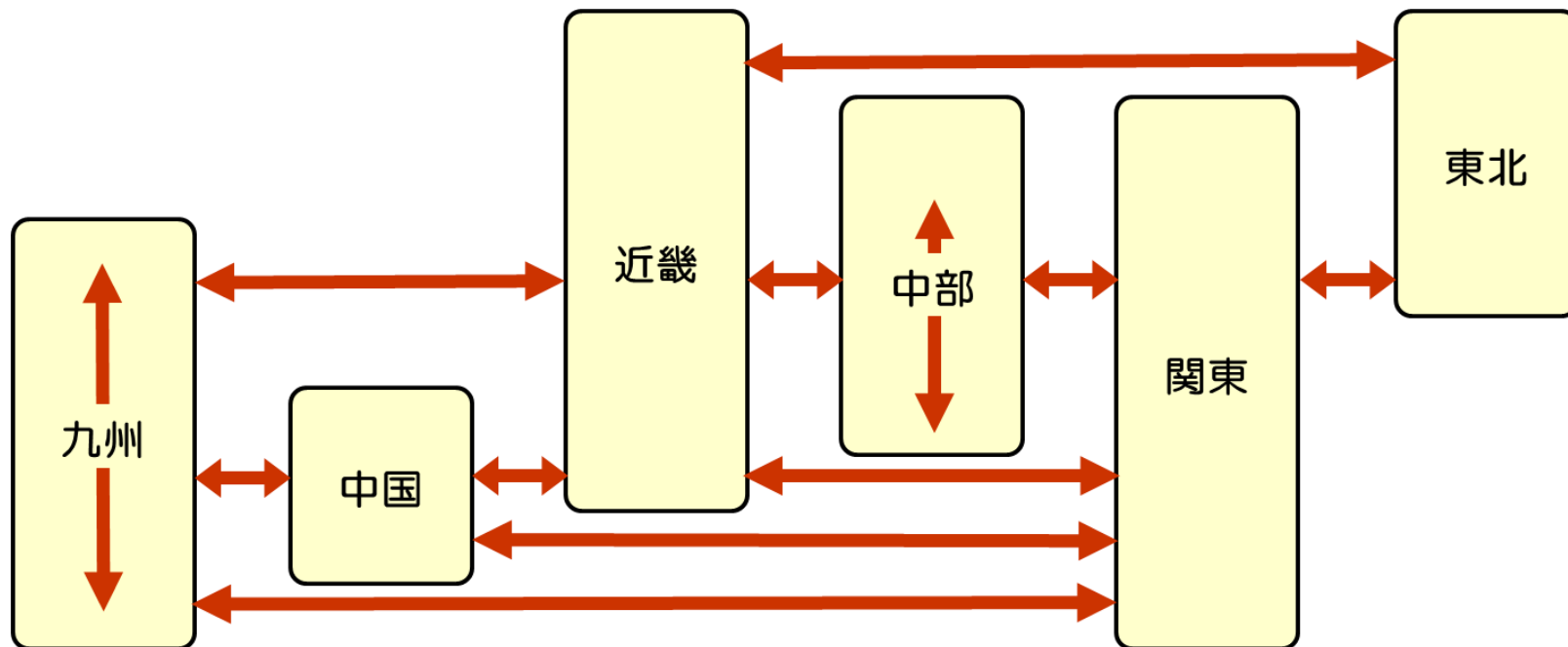
● 域内配送ネットワークとは…

- ・関東、中部、関西、九州の4ブロック内の物流拠点から出荷する「**2ト以下のの小口貨物**」の積み合わせ配送を中心に、各ブロック一円を網羅する自社配送ネットワーク。
- ・長尺物や不定形品なども含め、小口貨物の配送ネットワークを強化。



長距離トラック幹線輸送のドッキングルート拡大

※長距離輸送のトレーラー化や中継輸送の拡大に取り組む中、中継地点でトレーラーの切り替えやドライバーの乗り換えを実施。



- ▶ 現在、グループ全体で**84ルート**を運用中。
- ▶ 来年3月末までに9ルート増の**93ルート**体制へ

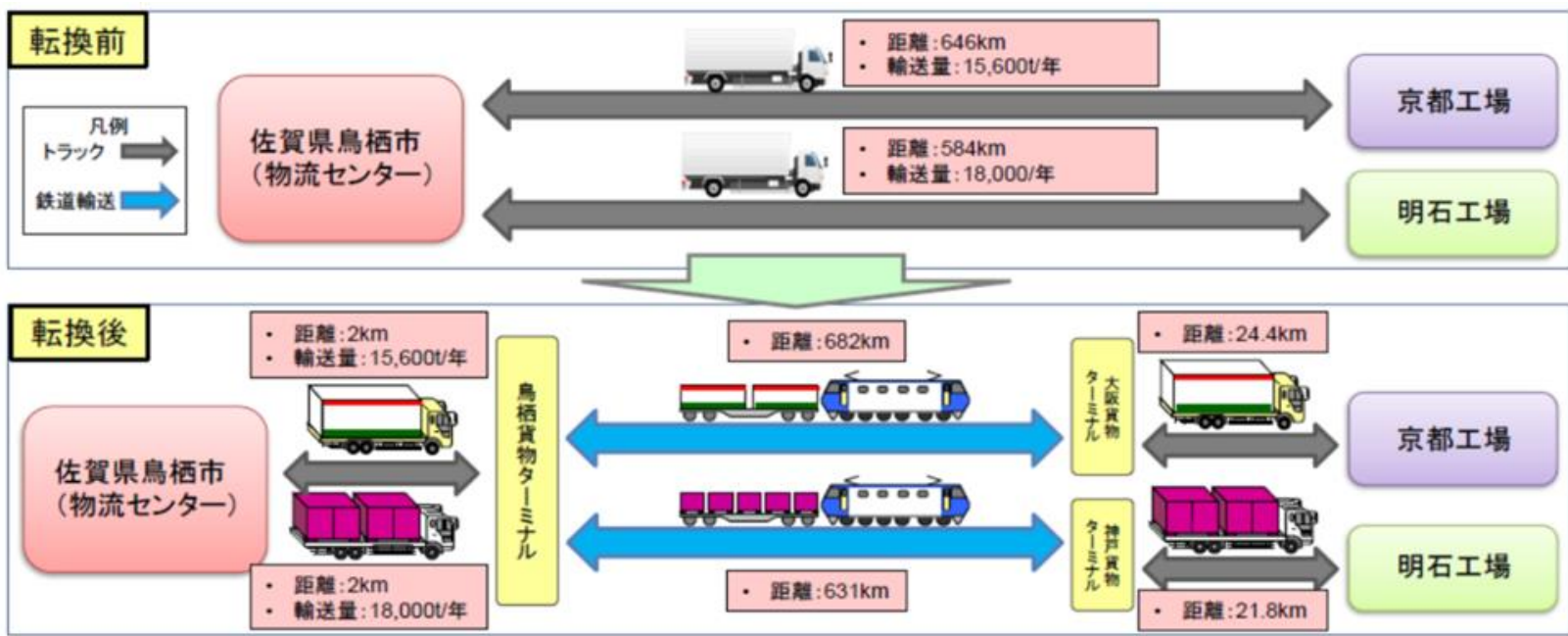
1. 輸送事業の強化

モーダルシフトの推進

(社)日本物流団体連合会から物流環境大賞を受賞(2018年6月)

▶ 大手飲料メーカーの九州⇔関西間の
トラックによる幹線輸送を鉄道輸送にシフト

対象貨物	旧輸送モード	新輸送モード	削減効果(年間)	
			Co2	運転時間
飲料	トラック長距離便	鉄道 (12ft/31ft コンテナ)	64%	82%



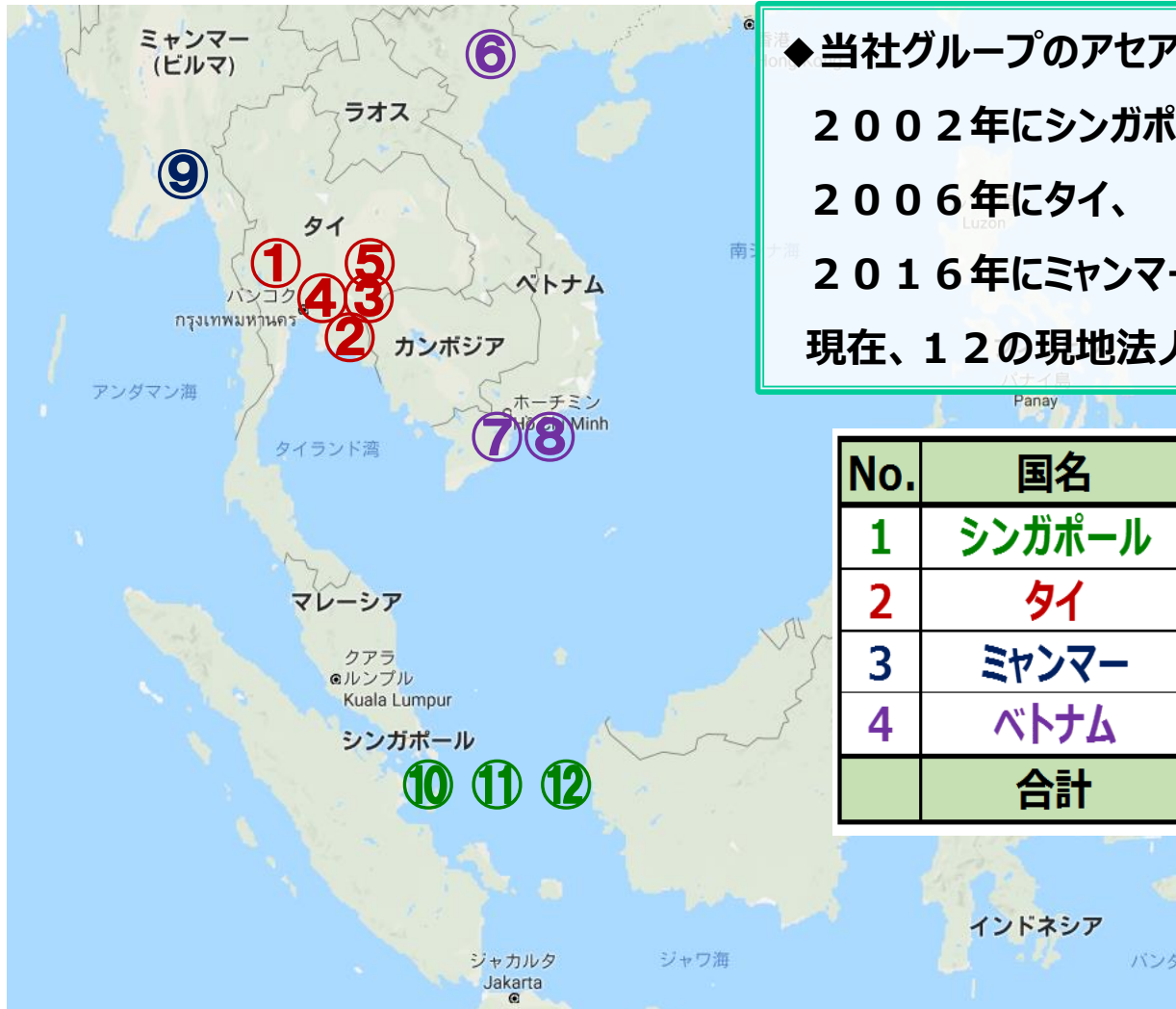
モーダルシフトの推進

第19回物流環境特別賞 3件受賞 (2018年6月)

対象貨物	旧輸送モード	新輸送モード	削減効果(年間)	
			Co2	運転時間
プラスチックフィルム	トラック長距離便	鉄道 (5t コンテナ)	64%	-
加工油脂	トラック長距離便	17t 冷凍冷蔵トレーラーを利用した 船舶 (フェリー)	35%	88%
住宅用部材	トラック長距離便	20t トレーラーを利用した 船舶 (RORO船)	10%	82%

◎ モーダルシフト化率 : **68%** (輸送距離500km超)
※ 2018年9月末実績

アセアン進出状況



◆当社グループのアセアン進出は、
 2002年にシンガポール、
 2006年にタイ、
 2016年にミャンマーとベトナム。
 現在、12の現地法人と4つの物流センターを展開。

No.	国名	現地法人数	倉庫拠点数
1	シンガポール	3	1
2	タイ	5	1
3	ミャンマー	1	1
4	ベトナム	3	1
	合計	12	4

▶現在、「国際フォワーディング事業」、「輸送事業」、「物流センター事業」の機能性を高め、事業領域をさらに拡大させていくため、次の4つの重点施策を展開中。

① 冷凍・冷蔵物流の強化

② クロスボーダー輸送の強化
(越境陸上輸送)

③ 国際フォワーディング事業の強化

④ 未進出国への事業拡大

① 冷凍・冷蔵物流の強化

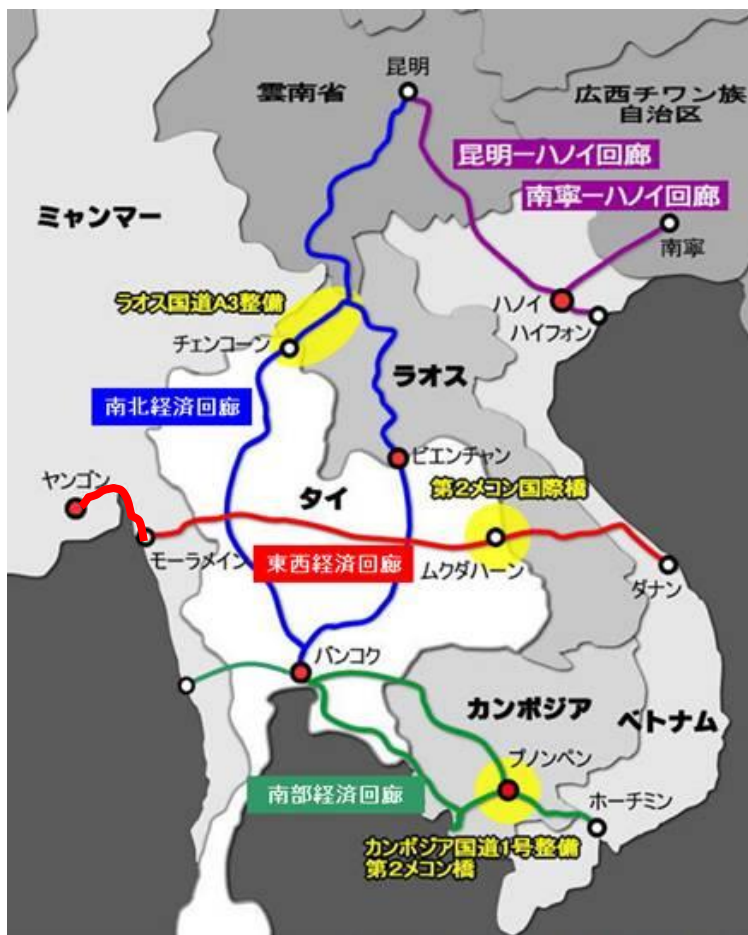
MKレストランとの合併会社 M-Senko Logistics 設立

- ▶ 今年3月、タイの大手外食チェーン/ MKレストランと合併会社 M-SENKO Logisticsを設立。MKレストランの物流業務を移管。
- ▶ 今年7月、冷凍・冷蔵車両 約150台による輸送業務をスタート。
- ▶ 2019年度内にバンコク市内に3温度帯物流センターを開設予定。



②クロスボーダー輸送（越境陸上輸送）の強化

クロスボーダー輸送の路線拡大・増便中



輸送ルート	開発中ルート
・ タイ-カンボジア	・ タイ-ベトナム
・ タイ-ミャンマー	
・ タイ-マレーシア	
・ タイ-ラオス	



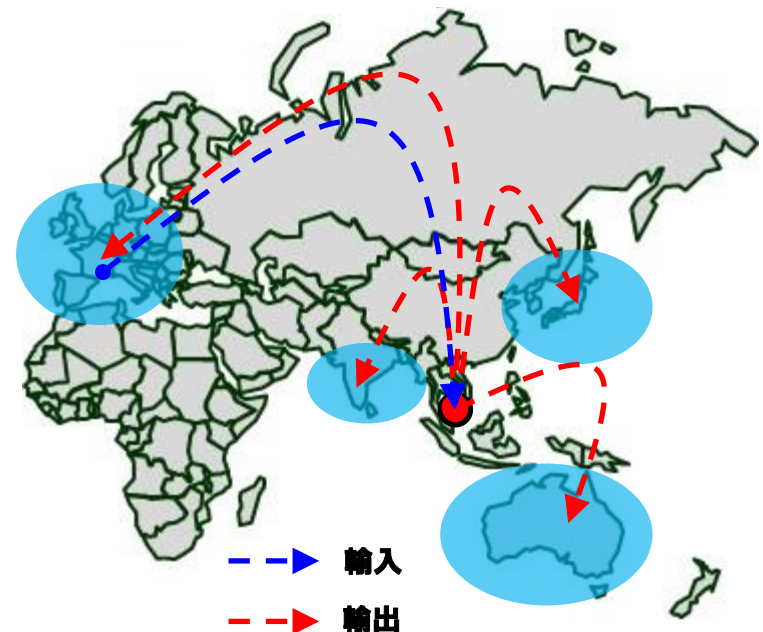
③ 国際フォワーディング事業の強化

「Best Global Logistics Co., Ltd.」をグループ化 (2018年9月)

- ▶ 欧州などからタイへの輸入貨物やタイからアジア・太平洋地域（インド・オーストラリア・日本・韓国）等への輸出貨物を中心に、国際フォワーディングサービスを提供。



社名	Best Global Logistics Co., Ltd.
本社	タイ王国 バンコク市
設立	2015年（平成27年）5月
資本金	50百万タイバーツ（約170百万円）
売上高	380百万タイバーツ（13億円）※2017年実績
事業内容	国際航空輸送業、国際海上輸送業



4 社協業による車載用防災セットの開発・販売 (センコー商事、スマイル、アスト、丸藤)

7年長期保管可能
車載用防災セット



商事グループ4社協業の開発商品
・長期保存が可能な水や食料など
厳選された防災用品10点セット

防災フェスタ2018 in OSAKAに出展



主な出展商品

センコー商事

市販のカセットボンベで簡単発電!
ガスパワー発電機 エネポ



アスト

この食缶にはちよつと感動!!
新・食・缶ベーカーリー



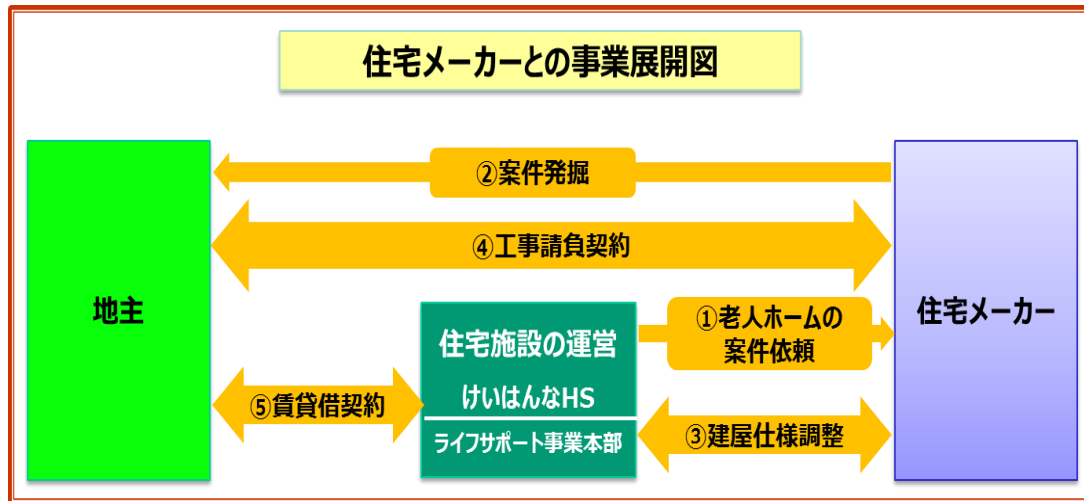
丸藤

組立簡単!ダンボール製簡易トイレ
ブルマルⅢ



① 住宅型老人ホーム事業の拡大 (けいはんなヘルパーステーション)

住宅メーカーと協業した新施設の運営



イメージパース(生駒)



現在、奈良県生駒市と滋賀県大津市に開設を計画中。下記の既設3施設を含め、5施設となる。

現在稼働中の住宅型老人ホーム (奈良県内)

トゥインクル中山町



トゥインクルあやめ池



トゥインクルおしくま



② 通所介護事業の拡大（ビーナス）

2018年度 入浴付き半日型リハビリデイサービス店 6店舗の増店を計画



2018年度にオープンしたビーナスプラス5店舗

- ・ 5月 鶴橋店（大阪市）
- ・ 6月 大野芝店（堺市）
- ・ 7月 住之江/拡張（大阪市）
- ・ 9月 城西店（高槻市）
- ・ 11月 四條畷店（四條畷市）

今後オープン予定の店舗

- ・ 2月 ビーナスプラス藤井寺店（藤井寺市）



ビーナスプラス四條畷11月オープン
（大阪府四條畷市）

「ビーナス」が運営するデイサービスの店舗は、
既設の52店舗に計画の1店舗を含め、53店舗。

③ フィットネス事業の拡大 (ブルーアースジャパン)

24時間営業のフィットネスジム「MY-BODY」を2店舗オープン

MY-BODY 昭和店(山梨県)
6月オープン



店舗外観

MY-BODY 南橋本店(神奈川県)
8月オープン



店舗外観

【特色】

- ① 小型スタジオに特化した小規模ジム
- ② 24時間営業
- ③ 「いつでも」、「簡単」に、「短時間」で「低料金」



ケーブルモーション



グラビティパーソナル

「ブルーアースジャパン」が運営する施設は、今年上期にオープンしたMY-BODY 2店舗を含め、16施設。